

# さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業 について



札幌市保健福祉局  
障がい保健福祉部障がい福祉課

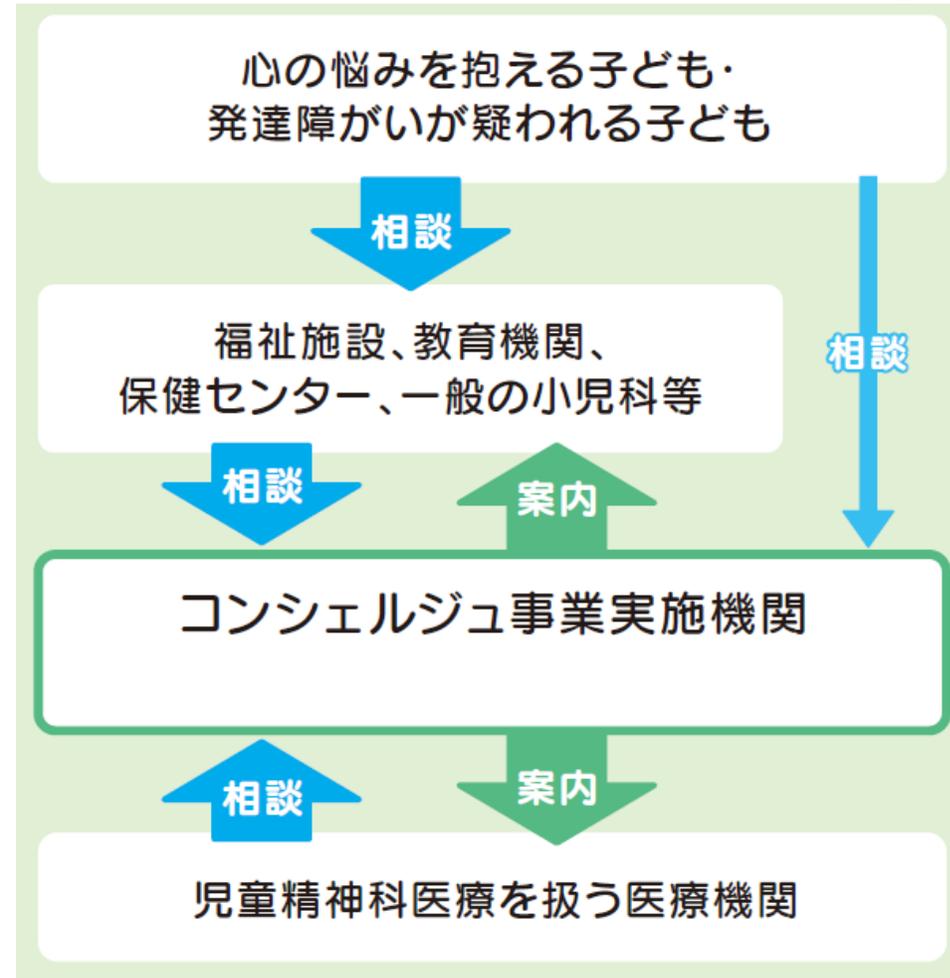
# さっぽろ子どもまごころのコンシェルジュ事業

## ①概要

1) より専門的な適切な医療機関などを案内  
(コンシェルジュ)



2) 専門機関からより適切な医療機関などを案内  
(コンシェルジュ)



# さっぽろ子どもまごころのコンシェルジュ事業

## ②コンシェルジュ機関

コンシェルジュ機関名	担当区
氏家記念こどもクリニック	中央区・東区
五稜会病院	北区
榆の会こどもクリニック	厚別区
子ども心身医療センター	白石区・豊平区
ときわ病院(相談室こすもす)	清田区・南区
ときわ病院(相談室あじさい)	西区・手稲区

# さっぽろ子どもまごころのコンシェルジュ事業

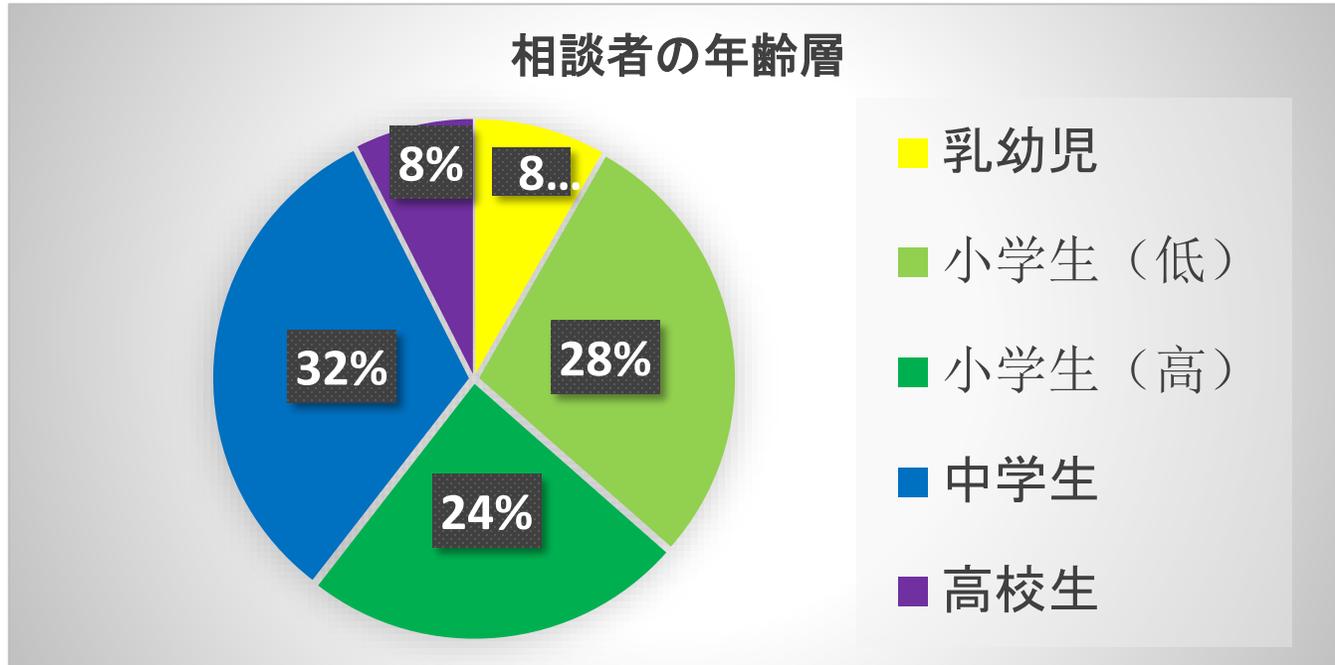
## ③実績

年度	相談件数	備考
30	829	月60-80件で推移
29	630	4月、8月を除き、月50-60件で推移
28	352	10月から、6箇所体制になる
27	140	10月開始のため半年分

少しずつ制度の周知が進み、相談件数が増えている

# さっぽろ子どもまごころのコンシェルジュ事業

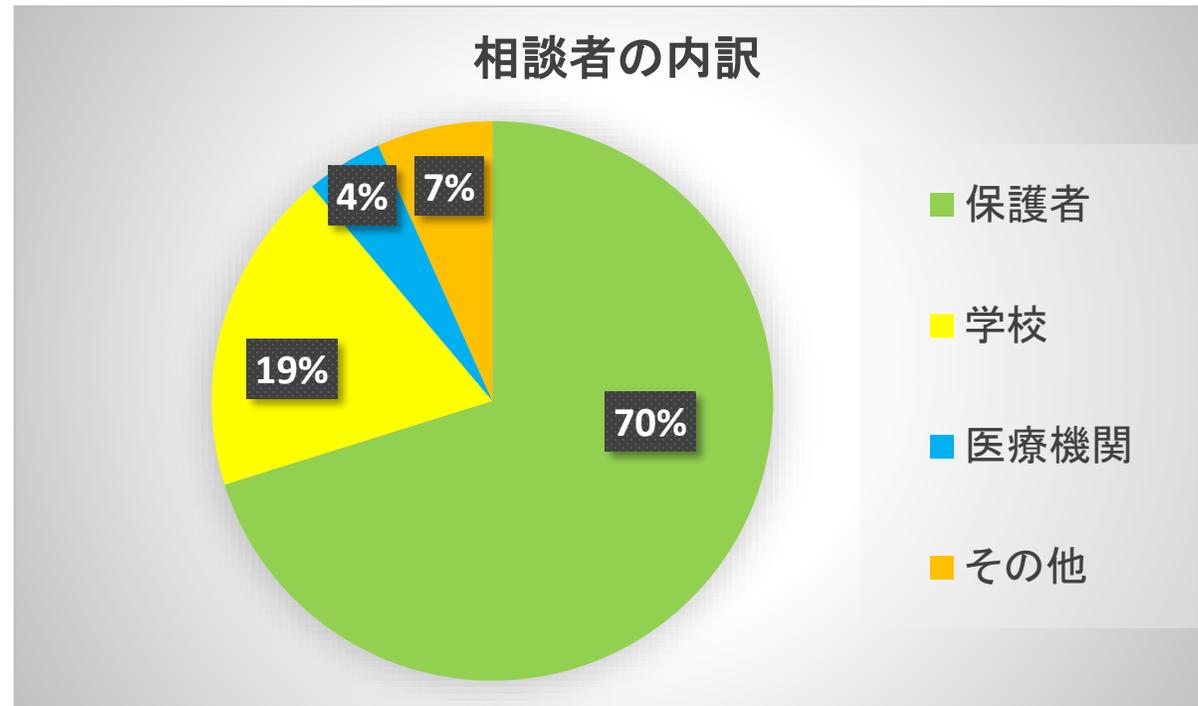
## ③実績



小学生（低学年+高学年）が半分近く。  
次いで、中学生が多い。

# さっぽろ子どもまごころのコンシェルジュ事業

## ③実績



保護者からの直接相談が7割  
学校からの相談が2割

# さっぽろ子どもまごころのコンシェルジュ事業

## ④関係者からのご意見

### 良くなったこと

- ・今までどこに相談してよいか分からなかったので、便利になった。
- ・他機関との繋がりができた。

### 改善が必要なこと

- ・更なる制度の周知・広報が必要
- ・案内先(コンシェルジュ先)が足りない
- ・関係機関からの相談が少ない  
(保護者からの直接相談が多い)



(意見交換会での意見より)

# さっぽろ子どもまごころのコンシェルジュ事業

⑤参考 平成30年9月6日未明に発生した  
北海道胆振東部地震の対応

既存のネットワーク「さっぽろ子どもまごころのコンシェルジュ事業」を  
活用し、「被災児メンタルサポート専門医療システム」を立ち上げ

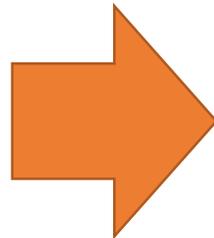


震災に関する相談を優先的に対応



※ 9つの医療機関の協力により、特別に診療枠を空けていただく

通常3か月～1年待ち



1週間以内に診察



# さっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業

## ⑤参考 震災に関する相談例

今まで寝ていた寝室で眠れなくなった。暗がりや怖がり、電気を付けたままでないと眠れない。食事も食べなくなった。今までなかった指しゃぶりもするようになった(2歳 男の子)

震災後から、地震を想起させるような音や体感を怖がるようになった。きょうだいやふざけてふすまや壁を叩くと、極端に怖がり嫌がる(3歳 男の子)

地震後に過剰に怖がり、停電中に部屋で過ごせなくなり、2日間車で過ごした。復旧後も戻るのをしぶったが何とか戻れている。今はないが揺れていないのに揺れていると怖がっていた。(6歳 男の子)

夕食が食べられなくなった(吐き気を催す、朝食は問題なく食べられる)。元気がなくなり、寂しいと言って泣くようになった。学校に行くと安心して元気になる。(9歳 女の子)

【相談件数】2018年9月:8件 10月:6件、11月:0件

ご清聴ありがとうございました

